

米 10 俵プロジェクト



飛騨市の古川町地区で古くから唄われる民謡「ぜんぜのこ（古川音頭）」には、「ゼンゼノコ、マンマノコ」という歌詞があり、一説によればその意味は、ゼンゼノコはお金、マンマノコはご飯を指し「お金や御飯がなくても、お互いの助け合いによって生きていけるのだ、そうした人情があふれているのだ」という意味であるといわれています。

こうした飛騨市の自慢とも言える人々の温かい気質を全国に広く PR し、飛騨市に対する関心・興味を高めるとともに、飛騨市のことが好きな人や、飛騨市を訪れてみたいと思う人を増加させるため、移住世帯を対象に移住後 10 年間、1 年あたり米 1 俵を贈呈します。

支援対象者

個人世帯、家族世帯を問わず、飛騨市外から飛騨市に転入し、3 年以内に生活の本拠とする住宅を新築または購入した方にお米を 10 年間支援します。ただし、飛騨市内に居住する二親等以内の親族を持つ方については対象になりません。（申請者本人及び同居の親族）

贈呈内容

1 年度あたり飛騨市産の米 1 俵（60キロ）を 10 年間贈呈します。

お問い合わせ

飛騨市役所 総合政策課 〒509-4292 岐阜県飛騨市古川町本町 2-22

TEL 0577-73-6558 FAX 0577-73-7077 E-mail sougouseisaku@city.hida.gifu.jp

この事業は、一般的な祝い金や助成金制度などお徳感を売りにするものとは異なり、この地域の風土や人々の気質など伝えにくい部分を何とか伝え、その上で飛騨市ファンが増えて移住にいたる人が増えたらという想いから作られた制度です。